

AI・データサイエンス(応用基礎)プログラム科目一覧

必修・選択	開講所属	科目コード	科目名	単位	授業形式/ Course delivery format	授業のテーマ及び到達目標/Course Theme and Objectives
必修	教務	BA01	A I ・データサイエンス基礎	2	#オンライン(オンデマンド型)	現代社会におけるAI(人工知能)やデータサイエンスの役割、および、その基本的な仕組みや利活用の方法を学ぶとともに、実際の活用事例にも触れます。受講者は、現代社会を生きるためのリテラシー(いわゆる「読み書きそろばん」)の能力、すなわち、誰もが持つべき当然の素養)として、AI技術やデータの利活用に関する基礎的な知識や留意事項を学び、それらを今後の学業や実生活に生かせるようになります。積極的に参加し、最先端のさまざまな紹介事例から現代社会の大きな変化を感じ取ってください。
必修	国際	GL21	情報処理入門I	2	#対面	情報処理の基礎知識、数値、データサイエンスに関する技術を体系的に理解するとともに、目的に応じて適切にデータを分析、活用して課題を解決できる能力を身に付ける。 【到達目標】 ・データサイエンスの基本的な考え方を理解し、データ分析・統計の基礎を習得する。 ・学習・研究のための情報収集と調査にインターネットを正しく活用できる。 ・文書作成ソフトウェア(Word)、表計算ソフトウェア(Excel)を活用して、レポートの作成ができる。 ・プレゼンテーションソフト(PowerPoint)を使って、プレゼン資料を作り、発表ができる。
必修	国際	GL22	情報処理入門II	2	#対面	情報処理の基礎知識、数値、データサイエンス,AIに関する技術を体系的に理解するとともに、目的に応じて適切にデータを分析、活用して課題を解決できる能力を身に付ける。 【到達目標】 ・データサイエンスの基本的な考え方を理解し、データ分析・統計の基礎を習得する。 ・Pythonを用いた基礎的なプログラミングを習得する。 ・AIの歴史からAIを活用するための基礎知識を取得し、実際にAIを活用する際の一連の流れを身に付ける。
選択	英文	MP14	英語基礎研究7-2	2	#対面	Following a game developer's video tutorial on <i>YouTube</i>, we create a horror game while learning a number of basic & advanced game programming skills.
選択	英文	MD61	4年英米文学演習3-1	2	#対面	The course supervises and assists the progress of your graduation game production project.
選択	英文	MD62	4年英米文学演習3-2	2	#対面	The course continues to supervise and assist the progress of your graduation game production project. After submitting your graduation paper, you prepare the poster presentation that orally explains your individual game production project.
選択	英文	MD51	4年英語学演習1-1	2	#対面	The goal is to acquire basic skills of linguistic research through close examination of English syntactic phenomena. This term's main topic is "Clause Type and Illocutionary Force." Students are expected to learn how to discover problems in linguistics and solve them by themselves.
選択	英文	MD52	4年英語学演習1-2	2	#対面	By the end of the term students should be able to read technical work in linguistics, express their own ideas, and make a presentation on a specific topic. They should also be able to write their papers in clear, logical English.
選択	英文	MD53	4年英語学演習2-1	2	#対面	By the completion of the course, students will be able to:(1) Create outlines for their theses.(2) Write literature reviews of their selected topics.(3) Design surveys/experiments/research projects.(4) Collect linguistic and phonetic data for their surveys/experiments/research projects.
選択	英文	MD54	4年英語学演習2-2	2	#対面	By the completion of the course, students will be able to:(1) Accurately transcribe English and Japanese by using phonetic symbols.(2) Analyze collected linguistic and phonetic data.(3) Describe and discuss their research/survey/experiment findings.(4) Summarize and present their theses.
選択	英文	MD55	4年英語学演習3-1	2	#対面	By the end of this course students will be able to 1. plan and collect data for their selected topics 2. analyze data for their research projects
選択	英文	MD56	4年英語学演習3-2	2	#対面	By the end of the course, students 1. will be able to describe and discuss the findings from their original research 2. make connections between their data and theory and to the real world 3. take an active role in revising and editing their writing
選択	英文	MD75	4年メディア・コミュニケーション演習2-1	2	#対面	Students will be able to competently apply discourse analytic approaches to language in various institutional, media, and everyday contexts and present their findings in class and in their research paper.
選択	英文	MD76	4年メディア・コミュニケーション演習2-2	2	#対面	Students will be able to apply discourse analytic approaches to language used in institutional, media, and everyday contexts. By the end of the course, they will also be prepared to logically and critically analyze the topics of their interests and present them in their research paper.
選択	英文	MD77	4年メディア・コミュニケーション演習3-1	2	#対面	By the completion of the course, students will be able to:(1) Create outlines for their theses.(2) Write literature reviews of their selected topics.(3) Design surveys/experiments/research projects.(4) Collect data for their surveys/experiments/research projects.
選択	英文	MD78	4年メディア・コミュニケーション演習3-2	2	#対面	By the completion of the course, students will be able to:(1) Successfully collect data (2) Analyze collected data (3) Describe and discuss their research/survey/experiment findings (4) Summarize and present their thesis
選択	日文	CD58	日本語学研究 1	2	#対面	アンケートやコーパスなどを用いた日本語学の研究手法の基礎を身につけながら、日本語の類義表現の意味の違いについて、実際の用例の観察を通して分析を行い、分かりやすく発表できるようになることを目標とする。 用例収集の方法として、コーパス(電子化された大規模な言語データ)の使い方を学ぶ。コーパスの種類や利用のメリット/デメリットといった知識を学ぶとともに、コーパス検索や結果分析の技術を身につけることを目指す。
選択	日文	CE33	研究法実習 5 (1)	1	#対面	論文とは何か、論文作成のためにどのような手順を踏まればよいかなど、論文作成のために必要な基礎知識を理解します。その上で、まず、研究テーマを設定し、それを解決するための方針を決めます。次に、方針に従って作業を行い、仮説と検証をくり返します。最後に、その成果をアカデミックスタイルの文章にまとめます。また、プレゼンテーションの技術と建設的な議論の方法についても学びます。
選択	日文	CE34	研究法実習 5 (2)	1	#対面	論文とは何か、論文作成のためにどのような手順を踏まればよいかなど、論文作成のために必要な基礎知識を理解します。その上で、まず、研究テーマを設定し、それを解決するための方針を決めます。次に、方針に従って作業を行い、仮説と検証をくり返します。最後に、その成果をアカデミックスタイルの文章にまとめます。また、プレゼンテーションの技術と建設的な議論の方法についても学びます。
選択	日文	CE35	研究法実習 6 (1)	1	#対面	論文を書くために必要な知識と技術を身につける。
選択	日文	CE36	研究法実習 6 (2)	1	#対面	論文を書くために必要な知識と技術を身につける。
選択	日文	CE37	研究法実習 7 (1)	1	#対面	主として日本語教育に関する卒業論文の作成に役立てる。
選択	日文	CE38	研究法実習 7 (2)	1	#対面	主として日本語教育に関する卒業論文の作成に役立てる。
選択	史学	DJ26	博物館情報・メディア論	2	#オンライン(オンデマンド型)	デジタル化の進展と動画配信の発達によって、博物館情報メディアを取り巻く環境は大きく変貌し、今後、さらに発展すると予想される。博物館、文書館、図書館など情報資源を扱う機関のウェブ上での連携においても、映像に関するリテラシーは不可欠であると考えられる。情報メディアの中核となりつつある映像コンテンツと映像アーカイブについて、その特性と活用、情報記述、著作権、リサーチの技術を理解し、今後の展望と課題を考察することによって、博物館と情報メディアに関する基礎的能力を身に付け、用語や概念について記述できる。
選択	人関	EH30	社会統計学	2	#対面	社会統計学の基本的知識を習得する。社会現象を統計的に解析することの意義を知るとともに、基礎統計、推測統計、および、クロス集計、平均値の比較、相関係数の意味を理解し、自ら利用できる技術を身につける。尚、本講はカリキュラムマップでは人関-3に位置付けられている。
選択	人関	EH31	データ分析の基礎	2	#対面	質問紙調査や心理学実験などで収集されたデータを、どのように整理し分析するかについて、その方法を習得する。最終的には、基礎的な統計資料の整理とデータ分析を、受講生が一人でこなせるようになることを目標とする。
選択	人関	EH32	多変量解析法	2	#対面	質問紙調査や心理学実験で収集したデータを、多変量解析の手法を用いて分析する手順を理解することを目指す。最終的には、調査の目的や分析の目的に見合う分析方法を、受講生が確実に選択できるようになることを目標とする。
選択	人関	EB02	社会心理学特講 2	2	#対面	統計的検定の出力結果を読み取り、考察を導けるようになる。
選択	人関	EH24	社会調査の技法	2	#対面	社会調査の論理を理解し、データ収集や分析の方法など調査のプロセスに関する基本を身につけ、調査を実施できるようになる。
選択	人関	EH04	社会調査実習 1(1)	2	#対面	調査の実践を通じて社会調査の手法を体得し、応用できるようになる。
選択	人関	EH05	社会調査実習 1(2)	2	#対面	調査の実践を通じて社会調査の手法を体得する
選択	人関	EH10	社会心理学論文演習(1)	2	#対面	特に心理学系の論文執筆を学ぶことを主眼に置いた授業である。先行研究の整理の仕方、論文の構成、学術表現、論理の立て方、結果の記述の仕方をグループワークで修得し、4年生の卒業論文に応用できるようになる。
選択	人関	EH12	社会心理学論文演習(2)	2	#対面	特に心理学系の論文執筆を学ぶことを主眼に置いた授業である。先行研究の整理の仕方、論文の構成、学術表現、論理の立て方、結果の記述の仕方をグループワークで修得し、4年生の卒業論文に備える。
選択	人関	EH06	社会調査実習 2(1)	2	#対面	本授業履修後には、一人で調査票を用いた調査ができるようになるのが目標である。
選択	人関	EH07	社会調査実習 2(2)	2	#対面	本授業履修後には、一人で調査票を用いた調査ができるようになるのが目標である。
選択	人関	EB93	情報活用の社会的実践	2	#対面	企業等から与えられた実際の課題に対して、提供された調査データや資料等の解析を通して提言を行うことができるようになる。社会調査法、統計学などの知識や方法論を、社会課題の解決に実践的に結びつけることの意義と方法を学ぶ。
選択	人関	ER33	社会心理学演習 I -1(1)	2	#対面	卒業論文に向け、文献(専門書や学術論文)の読み方、書き方を理解し、自らの研究テーマを明確化する。
選択	人関	ER34	社会心理学演習 I -1(2)	2	#対面	卒業論文に向け、文献(専門書や学術論文)の読み方、書き方を理解し、自らの研究テーマを明確化する。後期終了までに卒論の序論部分(第1章)の執筆と質問紙等の準備を完了させる。
選択	人関	ER35	社会心理学演習 I -2(1)	2	#対面	4年次の卒論に向けて、各自のテーマを設定し、文献研究などを始める。同時に、ディスカッションやコメントの重要性を学び、研究を分析する能力を培う。
選択	人関	ER36	社会心理学演習 I -2(2)	2	#対面	4年次の卒論に向けて、各自のテーマを設定し、文献研究などを始める。同時に、ディスカッションやコメントの重要性を学び、研究を分析する能力を培う。

AI・データサイエンス(応用基礎)プログラム科目一覧

必修・選択	開講所属	科目コード	科目名	単位	授業形式/ Course delivery format	授業のテーマ及び到達目標/Course Theme and Objectives
選択	人関	ER37	社会心理学演習Ⅰ-3(1)	2	#対面	・受講生は、積極的に自身の卒業研究で何を検討したいかを考え、関連する資料を調べ、目的を設定できる。 ・受講生は自身の卒業研究の論理的背景と目的を説明できるようになる。 ・受講生は他者の発表を聴き、適切なコメントができるようになる。
選択	人関	ER38	社会心理学演習Ⅰ-3(2)	2	#対面	・受講生は、予備調査を行い、その目的と結果を他者に説明できるようになる。 ・受講生は、卒業研究の序論を執筆し、その内容を他者に説明できるようになる。 ・受講生は他者の発表を聴き、適切なコメントができるようになる。
選択	人関	ER39	社会心理学演習Ⅱ-1(1)	2	#対面	卒業論文を執筆、完成させる。データを収集し、計算ソフトを用いた統計学的な分析を進め、課題に対する答えを導く。
選択	人関	ER40	社会心理学演習Ⅱ-1(2)	2	#対面	卒業論文を執筆、完成させる。前期までデータ解析を終了し、論文の執筆を中心に進める。なお、執筆する中で補足の統計解析なども行う。
選択	人関	ER41	社会心理学演習Ⅱ-2(1)	2	#対面	3年次までにまとめた卒論構想に基づき、各自のテーマに沿って研究を進め、卒論完成を目指す。自ら設定した課題に対してデータを収集、分析した結果について、プレゼンテーションを行う反転授業の形式をとる。プレゼンテーションはすべてPowerpointを用いる。
選択	人関	ER42	社会心理学演習Ⅱ-2(2)	2	#対面	3年次までにまとめた卒論構想に基づき、各自のテーマに沿って研究を進め、卒論完成を目指す。自ら設定した課題に対してデータを収集、分析した結果について、プレゼンテーションを行う反転授業の形式をとる。プレゼンテーションはすべてPowerpointを用いる。
選択	人関	ER43	社会心理学演習Ⅱ-3(1)	2	#対面	この授業では、3年次までに修得したスキルの集大成である卒業論文の完成を目指し、各自のテーマに沿って研究を進める。本授業の到達目標は以下3点である。第1に自分で収集したデータを目的に沿って分析できること。第2に自分の研究を他者に説明できるようになること。第3に、受講生の発表内容を聞き、討議できようになること。
選択	人関	ER44	社会心理学演習Ⅱ-3(2)	2	#対面	この授業では、3年次までに修得したスキルの集大成である卒業論文を完成させる。本授業の到達目標は以下3点である。第1に卒業論文を完成させること。第2に自分の研究を他者に説明できるようになること。第3に、自他の研究について討議できようになること。
選択	国際	GD32	ICT社会論	2	#対面	インターネットとデジタル機器などのICT (information and communication technology)がどのように経済と社会、戦争までを変えていくかについて理解し考察します。発信力と表現力のひとつとして、ビデオクリップ(動画)の作成とプレゼンテーションを行います。
選択	哲学	HA14	哲学基礎演習	2	#対面	哲学科での学習の基礎を学ぶ授業です。以下を到達目標とします。 ①哲学科での学びの方法の基礎を知り、自分の研究テーマを見つける手がかりを得る。 ②哲学的な思考法、探究法、表現法の基礎を学び、実践する。 ③自分の研究成果を発表する/他の学生の研究発表を聞く経験をする。 ④学生同士および教員との交流を深め、自由な哲学的コミュニティを形成する。
選択	教育	JE13	メディア教材開発	2	#対面	ポストコロナ時代、AI技術が加速するSociety5.0社会において、私たち人間の「思考」や「学び」はいかに変わる(変わらない)のでしょうか。また情報技術のさらなる高度化は私たち人間の生き方に何をもちたらすのでしょうか。「道具(外界)・身体・心」をキーワードに、これらについて追求していきます。
選択	心理	LK33	心理学統計法	2	#対面	心理学で必要とされる統計学の基礎となる記述統計学と確率分布について理解し、推測統計に橋渡しする知識を獲得することを目標とする。
選択	心理	LK11	基礎情報処理技法	2	#対面	心理学の実験や調査などによって得られたデータを表計算ソフト(Excel)で分析し、表やグラフを作成できるようになること、統計解析ソフトで基礎的な統計処理を行えるようになること、そしてそれらの結果を文書作成ソフト(Word)やプレゼンテーションソフト(Power Point)で適切に表現できるようになることを目標とする。
選択	心理	LC16	心理学データ解析実習1	2	#対面	心理統計の基本的な知識を確認した上で統計的仮説検定の考え方をしっかりと学び、相関係数や平均の差を検定する分析法について実際のデータ分析が可能となるレベルを目指す。 レポートや卒業論文において自分が扱うデータの性質を見極め、適切に分析し結果を記述できるようになることを目標とする。
選択	心理	LC17	心理学データ解析実習2	2	#対面	心理学では、人間の心や行動という非常に複雑な現象に対して、限られた観測データから考察していく必要がある。このような難題を乗り越えるために重要なのが、統計学に関する基礎的な理解と実践的な知識を持つことである。 この授業では、特に実際にデータを解析する作業を通じて、推測統計法の初歩を学ぶことを目標とする。この授業で心理統計学に「入門」することによって、受講生が得られる成果とは、①基本的な実証心理学の統計分析を自力で行えるようになること、②より高水準の統計分析についてもこの授業で学んだことを土台として主体的に学習を進められるような素地を形成すること、③日常的な文脈で正確な統計学的知識に基づいて思考・推論をできるようになること、などである。
選択	心理	LN15	発達・認知心理学特講5	2	#対面	発達心理学及び認知心理学の基本的な手法について、それらの研究の始まりから現在に至るまでの、歴史、手法の変遷、応用面での評価を具体的な事例を元に説明することができるようになる。
選択	総現	AS86	グローバル共生総合演習	2	#対面	テーマ：グローバル共生副専攻のさまざまな科目を通して学んできたことを基盤に、本副専攻の総まとめ(Capstone)として、グローバル共生研究所と一緒に「グローバル共生」に関連する探究やプロジェクトを進めていきます。そして、その探究・プロジェクトにおいて多様な情報・データを収集・分析し、考察を深めます。同時に探究・プロジェクトでの学びを振り返り、本副専攻の集大成として発表・展示を行います。 本科目の目標は、主に次の2点です。 (1) これまで「グローバル共生副専攻」で学んだ知識・技能、情報を収集し分析する力、多角的に考える力、自律的に課題に取り組む姿勢等を総合的に活用しながら、グローバル課題の解決を目指した探究・プロジェクトを主体的・協働的に遂行する。 (2) これまでの自らの人生を振り返り、これからの自らの生き方を創造し、今後の社会における自らの貢献可能性について深く考察する。
選択	総現	AS69	グローバル共生基礎Ⅰ	2	#対面	2024年度「グローバル共生基礎Ⅱ」の授業において、都市における持続可能性をテーマに本学4号館の緑化について検討した。本授業はその授業を引き継ぎ、履修生とともに実践を通して都市緑化を推進していく。 本授業の到達目標は下記の通りである。 ・都市における屋上緑化がもたらす効果および意義について理解する ・事前調査、デザイン作成、計画を立て、実行し、ふり返しを行う一連のサイクルを体験する
選択	総現	AS70	グローバル共生基礎Ⅱ	2	#対面	近年は新型コロナウイルスやウクライナ侵攻など予測困難で不確実性の時代と言われ、私たちを取り巻く環境はさまざまな事象が複雑に絡み合っている。本授業では私たちが直面している地球規模課題を理解するとともに、履修生一人ひとりがどのように社会と関わりながら今後の歩みを選択していくのか、その課題への応答を具体的な事例を扱いながら検討します。 本授業の到達目標は下記の通りです。 ・地球規模課題を理解する。 ・情報収集および表現の方法について学ぶ。 ・グループ活動を通してディスカッションを深める。
選択	総現	AU06	地域コミュニティにおける課題解決プロジェクト	2	#対面	テーマ：「少子高齢化」「貧困」「環境問題」「まちづくり」「インクルーシブ社会」「プロジェクト」「情報の収集と分析」等。地域コミュニティが抱えるグローバルかつローカルなテーマを取り扱います。 到達目標：地域コミュニティが抱える課題の多面的な理解、自然や人の心を感じる力、問題を発見する力、情報を収集・分析する力、創造力、自律的に取り組む姿勢、社会的責任等を身に付けることを目標とします。そして、現在の課題だけでなく未来のより良い社会を創りだしていく基盤を身に付けます。
選択	総現	AU11	地球規模課題を探究する	2	#対面	○授業のテーマ 「ある日突然、あなたは難民になる」と言われたらどうしますか? 家族や友人、いま話している言葉、文化など、昨日までの「当たり前」の日常を理不尽に奪われたら、あなたは何かを感じ、どう生きる道を選ぶのでしょうか。 いまでも世界では紛争や迫害により、1億人以上の人々が故郷から避難を余儀なくされ「難民」として生活しています。歴史を振り返ると、いつの時代も「難民」は存在してきましたが、どうすれば私たちは難民が直面する困難や選択を想像し、難民について世界ゴトではなく自分ゴトにできるのでしょうか? 本授業では、聖心グローバルプラザBE*hive展示室で開催する「難民企画展：想像していなかった今日を生きる」の展示作品や資料を通して、難民の「いま」に向き合い、戦争や紛争が与えた影響や彼らが抱いた感情や思いを感じ取り、「私たちには何ができるのか?」「私たちはどう生きる道を選ぶのか?」という正解のない問いと一緒に向き合っていきます。 プログラムは「難民企画展：想像していなかった今日を生きる」をテーマに学内外のゲスト講師による講義やワークショップ型授業(展示作品の対話型鑑賞、問いづくりワークショップなど)を受講するだけでなく、グループでBE*hive展を活用した対話型鑑賞のワークショッププログラムを考え、相互に実施、評価をするPBL型授業です。 ○到達目標 「難民企画展：想像していなかった今日を生きる」に関する展示作品の講義や対話型鑑賞を体験するだけでなく、自分たちでプログラムをデザインし進行することで、戦争や紛争の不条理と難しい状況を生き抜くことができる人の力強さ、歴史や社会、倫理、などについて深く考える能力や、問いをつくる力、創造性や協働性、ファシリテーション力を育みます。
選択	総現	AS84	地域づくり演習1	2	#対面	テーマ：「共生」「持続可能性」「価値創造」「地域づくり」。 到達目標：問いを持つ力、多角的な視野、統合的思考、行動力、コミュニケーション能力、協調性、想像力、創造力、情報を収集・分析する力、論理的に考え・表現する力、市民性、自律的学習力等を身につける。
選択	総現	AS85	地域づくり演習2	2	#対面	テーマ：「共生」「持続可能性」「価値創造」「地域づくり」。 到達目標：問いを持つ力、多角的な視野、統合的思考、行動力、コミュニケーション能力、協調性、想像力、創造力、情報を収集・分析する力、論理的に考え・表現する力、市民性、自律的学習力等を身につける。